


**2013年3月期
第1四半期
決算説明資料**

 **川澄化学工業株式会社**

2012年8月7日

1. 第1四半期決算（3～6ページ参照）

- 売上高は前年同期比で約15億円の減収
 - ・不採算品を整理したことで約4億円、販売先の在庫積み増しの反落影響で約5億円、タイ洪水の影響を受けた血液回路や海外向け血液バッグなどで約6億円の減収
 - ⇒ 不採算品の整理と日本国内の代替生産で生産数量の制約が引き続き残る海外市場向け血液バッグ以外の減収要因については、第2四半期以降で回復していく見込み
- タイ洪水関連の特別損失を4.6億円計上
 - ・タイ生産子会社の建屋の修繕費用などで3.2億円、供給義務遂行のために緊急的に準備した透析用血液回路の在庫の評価損で1.4億円、合計4.6億円を計上
- 結果、第1四半期は5.8億円の純損失

2. 通期業績見通し（8ページ参照）

- 5月11日に発表した業績予想を今回修正
- 洪水被災からの復興に係るコストを、前回予想では売上原価および販管費として5.4億円計上していたが、復興にともなう建屋の修繕費などで4.6億円、また供給義務遂行のために緊急的に準備した透析用血液回路の在庫の評価損1.4億円を特別損失として計上することになったことから、営業利益および経常利益が前回予想より増加し、当期純利益が減少する見込み
- タイ洪水にともなう保険金は、受取金額が未定のため、業績見通しに織り込まず

2013年3月期

第1四半期決算の概要

連結

金額：億円

	2012/3 第1四半期	2013/3 第1四半期	増減額	増減率
売上高	77.6	62.8	△14.9	△19%
売上総利益	26.2	19.3	△6.9	△26%
営業利益	5.7	△0.5	△6.2	△108%
経常利益	6.0	△1.5	△7.5	△126%
特別損失	0.0	4.6	4.6	+46520%
税前当期純利益	6.0	△6.1	△12.1	△202%
当期純利益	3.8	△5.8	△9.5	△254%
売上原価率	66.3%	69.3%	3.0%	

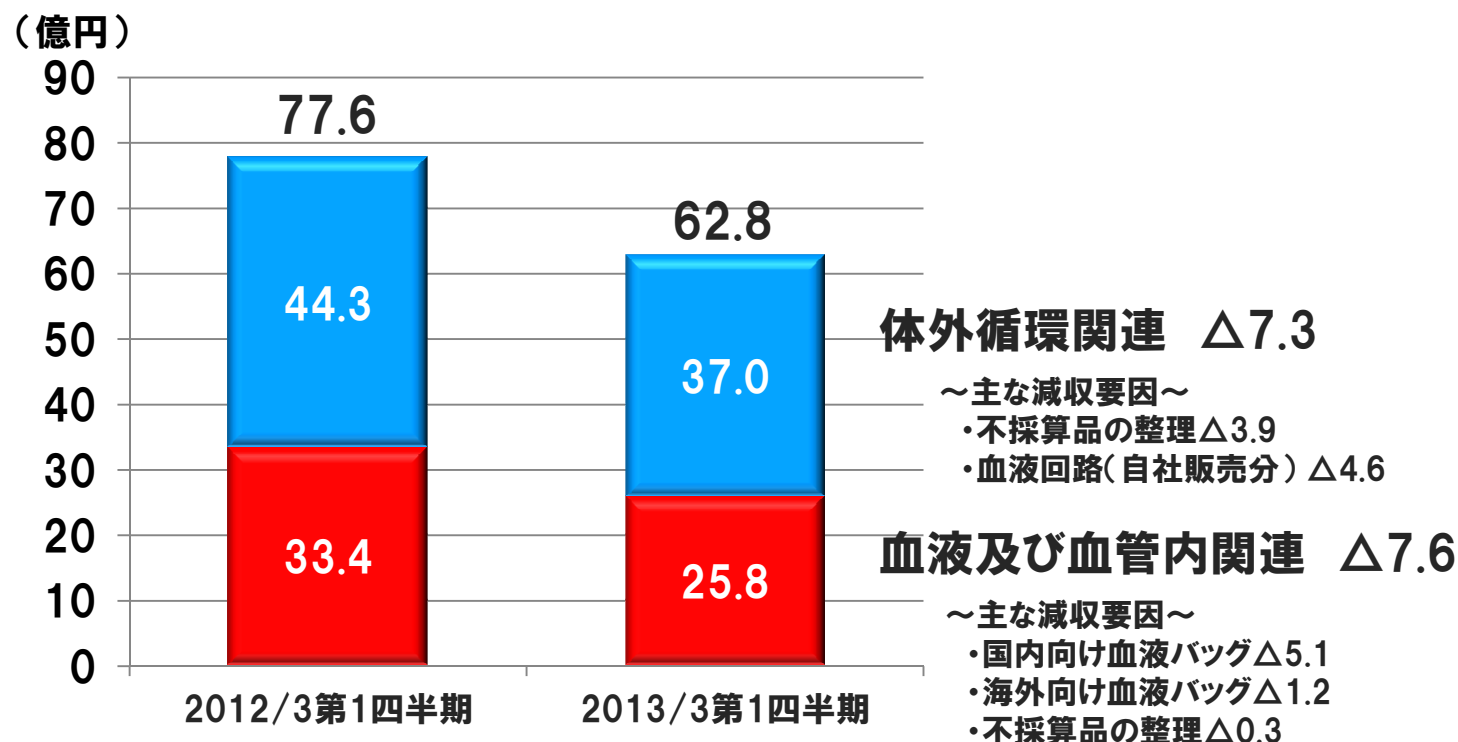
・売上高は、血液浄化製品やダイアライザー、AVF針が前年同期に比べ増加したものの、国内向け血液バッグが販売先の在庫積み増しの反落影響を受けたこと(約5億円)や不採算品を整理したこと(約4億円)、タイ洪水の影響を受けた血液回路や海外向け血液バッグの販売減(約6億円)などにより、前年同期に比べ14.9億円の減少

⇒国内向け血液回路は、供給量の確保を優先させるため、規格数を絞らざるを得なかったことから市場シェアを落とす結果となった。規格数を増やすことでシェア回復を図っていく計画。

・営業利益は、売上減少や代替生産にともなうコストアップなどにより、前年同期に比べ6.9億円の減少

・タイ洪水復興に係る建屋の修繕費などの一過性のコストを特別損失で4.6億円計上

売上高(セグメント別)



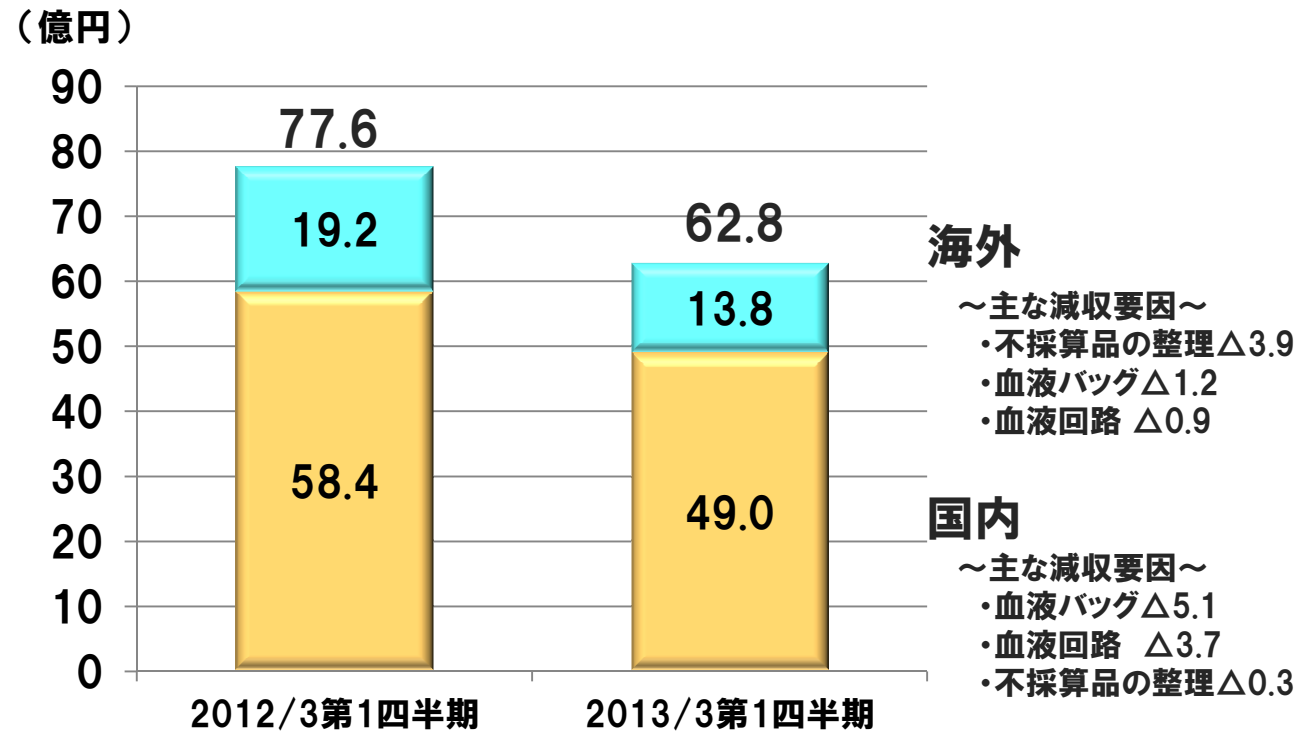
【血液及び血管内関連】

- ・本年3月に販売先の在庫積み増しがあった反落で、国内向け血液バッグが減少
- ・海外向け血液バッグは、国内工場で代替生産を継続しているが、供給数量が洪水前水準に及ばず、販売が減少

【体外循環関連】

- ・血液浄化製品やダイアライザー、AVF針が増加
- ・不採算品の整理により、米国向けOEM血液回路が減少
- ・国内外の自社ブランド品の血液回路は、本年4月にタイ国工場での生産が再開するも、回復の途上であり、前年同期比で減少

売上高(国内外)



【国内】

- ・血液浄化製品、ダイアライザーの販売が増加
- ・本年3月に販売先の在庫積み増しがあった反落で、国内向け血液バッグが減少
- ・本年4月にタイ国工場での生産が再開するも、回復の途上にあり、血液回路が前年同期比で減少

【海外】

- ・ AVF針や生産を再開した米国向け輸液セットが増加
- ・不採算品の整理により、米国向けOEM血液回路が減少
- ・代替生産にともなう供給数量減により、海外向け血液バッグが減少
- ・為替のマイナス影響は約0.3億円(前年レート比)

2013年3月期

販売費および一般管理費

連結

金額：億円

	2012/3期 第1四半期	2013/3期 第1四半期	増減額
人件費	7.6	7.4	△0.2
運送費	3.1	2.7	△0.4
研究開発費	2.0	2.2	+0.2
その他	7.7	7.4	△0.3
合計	20.4	19.8	△0.7

- ・人件費は、人材派遣費用の減少などにより前年同期比で減少
- ・運送費は、出荷量の減少などにより前年同期比で減少
- ・研究開発費は、癒着防止材の治験開始などにより前年同期比で増加

- **本年4月より、洪水被害を受けたタイ国生産子会社のナワナコーン工場生産を再開**
 - 日本国内向けの透析用血液回路は、本年度中に従来並みの生産体制を整えていく計画
 - 米国向け輸液セットは、タイでの生産を再開させ、洪水前の販売水準を回復済み
 - 海外向け血液バッグは、タイ国内に建設中の新工場が稼働する2013年末までは、日本国内での代替生産による最小限の供給となる計画。
本年7月に新工場の建屋建設を着工し、来年5月竣工予定。新工場稼働後には、洪水前の販売水準以上の回復を見込む。

- **日本国内工場での代替生産は、新工場建設中の海外向け血液バッグを残して、本年6月で終了**

2013年3月期

業績見通し(連結)

通期

金額:億円

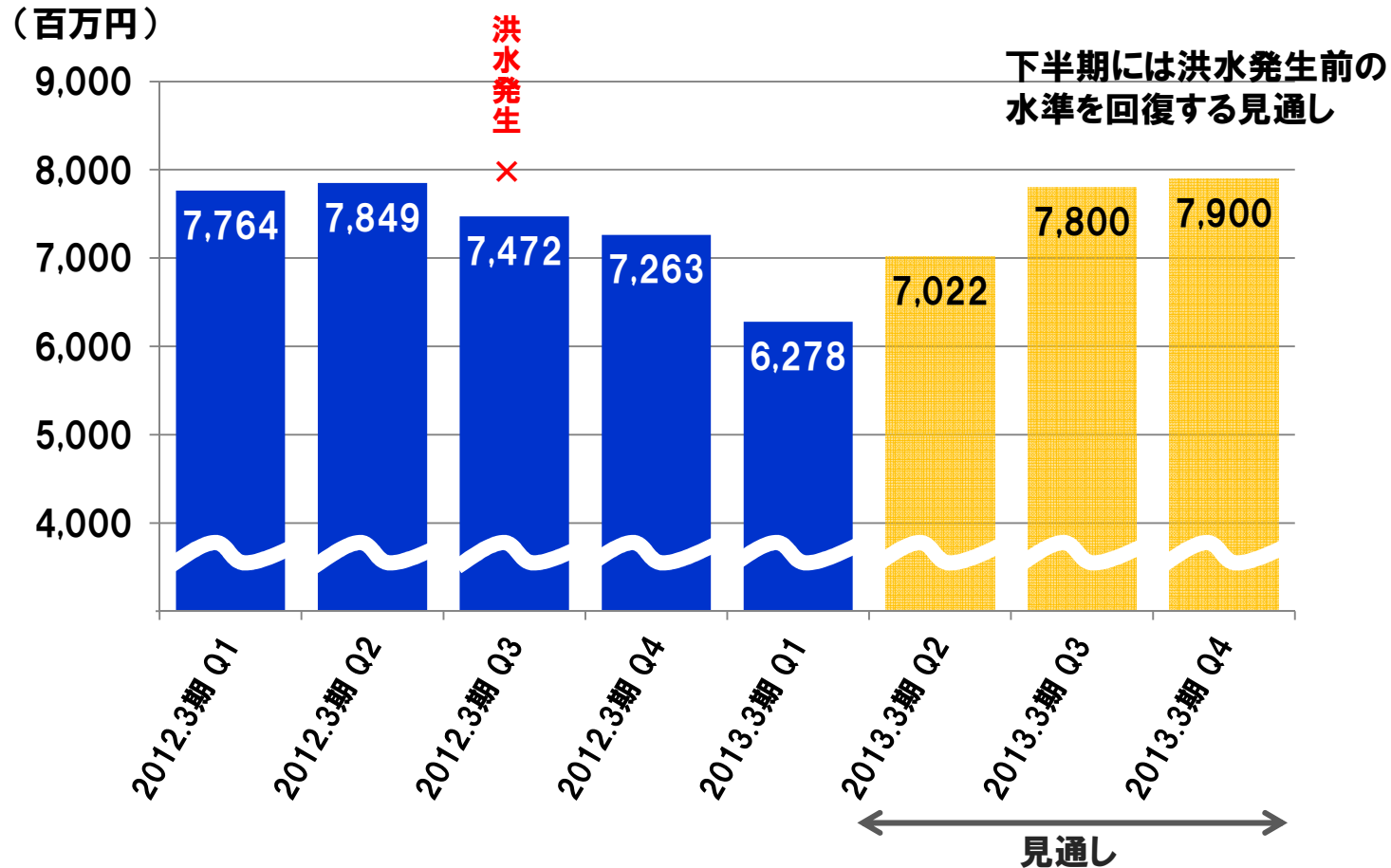
	2013/3期 前回発表 (A)	2013/3期 今回修正 (B)	2013/3期 増減額 (A)-(B)	参考 2012/3期 実績
売上高	295.0	290.0	△5.0	303.5
営業利益	10.7	14.4	3.7	14.6
経常利益	10.7	13.1	2.4	15.7
特別利益	0.0	0.0	0.0	30.6
特別損失	0.0	6.0	6.0	23.6
税前利益	10.7	7.1	△3.6	22.6
当期純利益	4.4	2.4	△2.0	15.0

*タイ洪水にともなう保険金は、受取金額が未定のため2013/3期の業績見通しには織り込まず

<修正理由>

洪水被災からの復興に係るコストを、前回予想では売上原価および販管費として5.4億円計上していたが、復興にともなう修繕費などで4.6億円、また供給義務遂行のために緊急的に準備した透析用血液回路の在庫の評価損1.4億円を特別損失として計上することになったことから、営業利益および経常利益が前回予想より増加し、当期純利益が減少する見込み

連結売上の見通し



第2四半期以降は、国内向け血液バッグの在庫積み増しの反落影響がなくなること、血液回路の規格対応によってシェア回復を図っていくこと、海外向けの輸液関連製品や国内外のダイアライザーで拡販を見込んでいることなどで、下半期には洪水前の売上水準を回復する見通し

川澄化学工業株式会社

本資料に関するお問合せ

川澄化学工業株式会社
経営企画室

TEL : 03-5769-2698

Email : webmaster@kawasumi.jp